

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
4-③	工業を振興する	産業振興部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
中小企業（製造業）の 事業拡大に伴う設備 投資に対する助成件 数（累計）	件	6	8	8	10		16
工場の新規立地や増 築に対する助成件数 （累計）	件	10	15	18	22		31
関連事業							
○企業立地等促進事業○テクノフェア推進事業○産学共同研究支援事業○波力発電関連分野での 新産業創出促進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	104,108	94,048					
執行率（%）	89.29	81.62					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●企業の立地や増築等に対する施設整備への助成と合わせて、市内在住者の新規雇用や土地取得による事業拡大を助成するとともに、中小企業に対する設備投資の促進を支援し、企業の事業拡大と流出防止、雇用機会の拡大を促進しました。 ●91の企業・団体の参加により湘南ひらつかテクノフェアを3日間開催し、販路の拡大や企業間等の交流、商取引を促進しました。 ●製品の特性や信頼性向上などに関する市内企業と大学との共同研究について、企業から3件相談がありましたが、補助対象となる案件はありませんでした。 ●平塚海洋エネルギー研究会の活動を推進し、波力発電関連分野での新産業創出のスキームの研究を進めました。 							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●企業の投資の動きが活発になってきたことから、関係機関とも協力して効果的な支援や事業のPRを図っていく必要があります。</p> <p>●テクノフェアの来場者の減少に伴い出展者数も減少傾向にあるため、来場者の増加に繋がるようなイベントや講演会を開催する必要があります。</p> <p>●市場の開拓も視野に、中小企業等のニーズと大学等のシーズを結びつける機会の創出を図る必要があります。</p> <p>●波力発電に係る地方創生推進交付金の事業年度内に、実証実験実施の目途をつける必要があります。</p>	<p>●制度の周知を進めるとともに、操業しやすい環境整備を促進する支援策の充実に向けて、企業へのヒアリング等に取り組みます。</p> <p>●平塚商工会議所等と連携し出展者を掘り起こすとともに、来場者の増加に繋がるような新しいイベントの創出を支援します。</p> <p>●セミナーやテクノフェア等の事業を実施する過程で中小企業のニーズや大学のシーズを把握するとともに、情報交換の機会を充実させ、産学の連携を推進します。</p> <p>●研究会からでてきた技術課題や波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究し、新しいしごとのタネを創出します。</p>